

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第23号

ななえ古写真物語

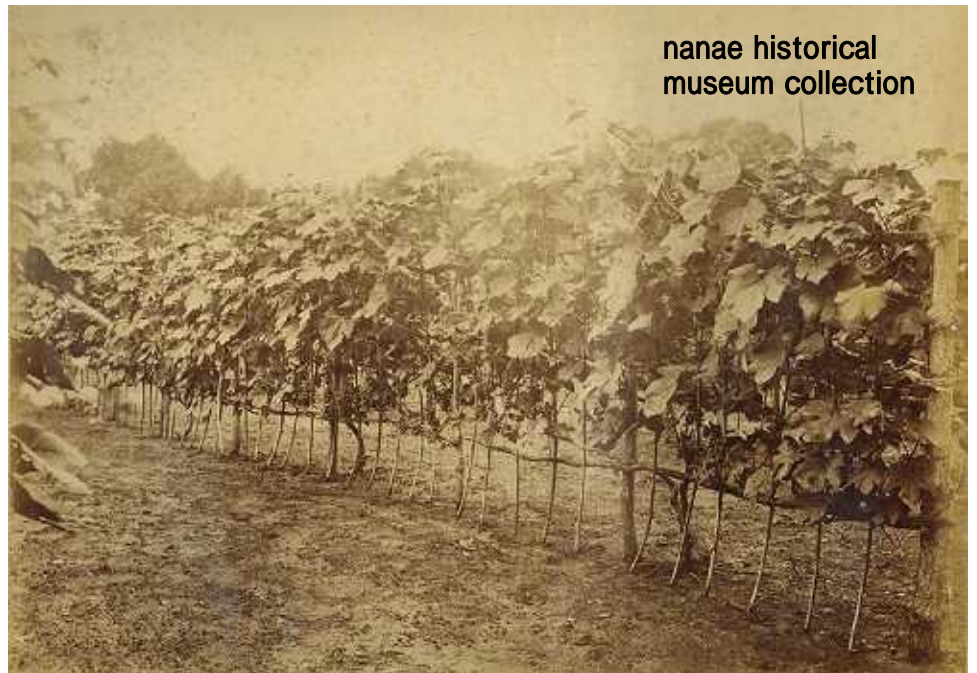
VOL. 23

ガルトのブドウ

~七重官園栽培のブドウ~

明治13年頃か

本町付近？ 詳細は不明



「是迄「ガルト」ト喝へ来リシ葡萄 元李国
人カルト子ル氏ノ齋子来レルニ因テ ノ名アリ
今其本名ヲ聞クニ李国産「フランケンタール」
又名「トロリングル」ト云フ是レハ白葡萄酒
ニ醸スルニ最良ナリトス・・・」この一節は、
当館所蔵の町指定文化財『迫田家文書』のうち
『夔司官心得』に記された「醸酒ノ簡話」から
抜粋したもので、明治15年10月26日に記録
されたものです。

これによると、明治2年に七重村に農場を開
設したドイツ人R・ガルトネルが植栽した葡萄
の品種が白葡萄酒に最適で、「フランケンタール」
という品種だったことがわかります。ガルト
ネルが植栽したこのブドウは、七飯町におけ
る西洋ブドウの先駆けとなり、「ピチャリ16
号」で紹介した西洋リンゴとともに、今年植
栽から140年を迎えます。

ガルトネルが植栽したブドウは、「ガルトの
ブドウ」と呼ばれ、後の七重官園に6株が引き
継がれたと『開拓使事業報告書』には記されて
います。官園ではその他、アメリカ産のブドウ
100株を植栽し、明治13年には葡萄園を設け
ました。上の写真は、官園で栽培している葡萄
園の様子を写したものです。

写真をみますと、現在のような棚を設けて栽
培する方法とは異なり、根曲がり竹を使って柵
を設け、それに枝をはわせるという方法で栽培
しています。現在、歴史館の屋外展示で栽培し
ている「ガルトネルブドウ」も上の写真と同様
の栽培法方を取り入れ、今年も多くの収穫に恵
まれました。

この「ガルトネルブドウ」については、七飯
町教育委員会で昭和54年に、田村半吾が栽培
していたガルトネル植栽の子孫といわれるブド
ウの老木の品種調査を行い「ブラックハンブル
グ」であることがわかりました。さらに迫田家
文書に記載されている「フランケンタール」と
の関係を調べるため、平成5年に浦臼町の北海
道立中央農業試験場に両者の比較鑑定を依頼。
その結果、これらは同一品種であるとの回答を
もらったため、「ガルトのブドウ」はブラック
ハンブルグであるとしていますが、最近、いく
つかの疑問があがっています。まず、ワイン用
ではなく生食用の品種であること、そして、白
ブドウではなく赤ブドウであること・・・。

植栽したガルトネルも謎が多い人物だが、植
栽されたブドウ品種も謎に包まれそうな予感が
する。そんな思いをさせる一枚の紹介でした。

3日 ふぁみりーでいみゅーじあむで「月見だんごづくり」を開催しました。

白玉粉と上新粉を混ぜてこね、丸く形を整え、鍋に入れてだんごが浮いてきたら冷水に取ります。だんごを10個積み上げたら10つまんだんごの出来上がりです。粉からだんごへだんだんと変わること驚いたり、鍋の底から次々と浮いてくるだんごをすくい上げるのに夢中になっていました。

試食用はたれをつくり、つまようじにさして小さなくしだんごにしました。

試食の後には絵本の読み聞かせもあり、楽しいお話に笑顔の皆さんでした。



31日 七飯町町民文化祭が開催され、今年も当館が第二会場になりました。

玄関横ではせんべいとポップコーンを実演し、お客様に振舞いました。お客様からは「ポップコーンはどうやって作るの?」「せんべい焼きは懐かしいね」などの声があがっていました。

館内では昔の道具やおもちゃの体験、リンゴ・ブドウの試食、絵本の読み聞かせなどで賑わいました。

準備・運営に当たってくださった歴史館友の会と郷土史研究会の皆様、ありがとうございました。



31日 ジュニア探検クラブで、文化祭に参加しました。

各班に分かれてせんべい焼き、膳写版(とうしゃばん)印刷、石臼挽き、ワープロ、昔のおもちゃ作りを体験しました。

せんべい焼きでは、自分達で小麦粉と重曹を混ぜてタネを作り、その場で焼いて、焼きたてを食べました。美味しく出来上がり、子ども達は満足そうでした。



12月の予定

1	火
2	水 夜の博物館
3	木
4	金
5	土
6	日
7	月
8	火
9	水
10	木
11	金
12	土
13	日
14	月
15	火
16	水
17	木 特別展open予定
18	金
19	土
20	日
21	月
22	火
23	水 天皇誕生日
24	木
25	金
26	土 ジュニア探検クラブ
27	日 ふぁみりーでいみゅーじあむ
28	月
29	火
30	水
31	木 年末休館日

12月31日～1月5日は休館になります。

一閑張り体験が開催されました。

10/21によるず会主催の「一閑張り体験」が開催されました。一閑張りとは、竹かごに和紙を貼ってその上に柿渋を塗った物で、私もオリジナルの小物入れを作りました(A)



編集後記 ~tawagoto~

寒い! ついに雪が降ってきたが、先日、ひさしぶりに近隣の山を歩いてきた。木々の葉もすっかりと姿を消す中、下草に目をやると、かすかにうごめく小さな虫たちを発見した。夏の間、よく目にしていた彼らも、この時期に見ると愛おしさを感じてしまう。彼らは、この冬をどのように過ごすのだろうか・・・。自然の精巧なシステムに感慨深さを覚えながら、早くも来春から始まる採集シーズンを待ち望んでいる自分がそこにいた。(やまだひさし)

Picharr ~ピチャリ~ 第23号

平成21年11月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp